



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社
 コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 渡邊 靖司
 (氏名) 矢羽田 弘
 配当支払開始予定日

TEL 092-437-8944
 平成24年2月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	3,560	△18.2	213	△58.4	148	△69.2	48	△80.1
23年6月期第2四半期	4,353	82.0	513	—	481	—	242	—

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 47百万円 (△80.2%) 23年6月期第2四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	1,084.25	1,039.69
23年6月期第2四半期	27,271.31	26,417.97

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年6月期第2四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。詳しくは「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	8,653	—	670	—	670	7.7
23年6月期	6,007	—	664	—	664	11.1

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 670百万円 23年6月期 664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	4,100.00	—	820.00	4,920.00
24年6月期	—	820.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	820.00	1,640.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。詳しくは「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	21.9	620	18.5	520	16.5	260	42.0	5,836.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	44,545 株	23年6月期	44,545 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	— 株	23年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	44,545 株	23年6月期2Q	8,885 株

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年6月期第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考)

株式分割に伴う遡及修正値

当社は、平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割を実施いたしました。当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の平成23年6月期第2四半期の1株当たり情報、平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は以下のとおりです。

1. 1株当たり情報

平成23年6月期第2四半期: 1株当たり四半期純利益5,454.26円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益5,283.59円

2. 1株当たり配当金

平成23年6月期 第2四半期末820円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みからは回復しつつあるものの、円高の進行やユーロ圏の財政問題等を受け、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、新規駐車場の開発等についての競合が激しさを増している中、東日本大震災以降一時的に低下していた駐車場需要が、東日本大震災前の水準まで回復しつつある等明るい兆しも見え始めております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力したことに加え、駐車場賃借料の見直し、特に連結子会社である株式会社グランシップの運営駐車場を中心として不採算駐車場からの撤退等に注力した結果、当第2四半期末の駐車場数は、前年同期より4ヶ所減の615ヶ所、車室数は229車室減の23,609車室となりました。

不動産等事業におきましては、マンション販売において物件の竣工及び引渡しが前年同期に比べ少なく、第3及び第4四半期連結会計期間に竣工及び引渡し予定物件の割合が高い計画としておりますが、30戸の新築マンション「トラストネクサス虹ヶ浜（山口県光市）」が平成23年8月に竣工、全戸引渡しを完了する等、順調に推移しております。

以上の結果、売上高は3,560,103千円（前年同期比18.2%減）、営業利益213,846千円（前年同期比58.4%減）、経常利益148,103千円（前年同期比69.2%減）、四半期純利益は48,298千円（前年同期比80.1%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社子会社であるタウンパトロール株式会社について、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

①駐車場事業

収益力の高い新規駐車場開発の強化を継続的に行ってまいりましたが、当第2四半期連結累計期間において、新規駐車場の開発数は51ヶ所、1,835車室となりました。また、駐車場賃借料をはじめとする駐車場原価の見直し等による既存駐車場の収益力向上、不採算駐車場からの撤退等の効果もあり、売上高は2,798,823千円（前年同期比5.5%増）、営業利益193,713千円（前年同期比24.5%増）と堅調に推移しました。

②不動産等事業

新築マンション「トラストネクサス虹ヶ浜（山口県光市、総戸数30戸）」が平成23年8月に竣工、全戸引渡しを完了する等順調に推移いたしました。また、マンション販売において物件の竣工及び引渡しが前年同期に比べ少ない計画であったこと等から、売上高733,608千円（前年同期比56.8%減）、営業利益48,963千円（前年同期比86.3%減）となりました。

なお、第3及び第4四半期連結会計期間において新築マンション2棟「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市、総戸数44戸）」及び「トラスト大濠公園ティアス（福岡市中央区、総戸数37戸）」の引渡し開始を予定しております。

③その他事業

その他事業につきましては、平成23年7月よりJR博多駅前にて大型ビジョンの運営を新たに開始したこと及び前連結会計年度に設立した当社子会社であるタウンパトロール株式会社において、平成23年8月より警備事業に本格参入し、重要性が増したため同社を連結の範囲に含めております。初期投資に係る費用負担等もあり売上高27,671千円、営業損失30,180千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,010,266千円増加し、4,061,025千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加77,163千円、販売用不動産の増加93,686千円、仕掛販売用不動産の増加852,064千円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,636,337千円増加し、4,592,877千円となりました。これは主に、福岡県福岡市博多区に本社社屋及び隣接する駐車場用地の取得並びに鹿児島県鹿児島市に自走式駐車場の取得等により有形固定資産が1,656,291千円増加、償却によりのれんが27,784千円減少等によるものであります。

この結果、総資産は8,653,903千円となり、前連結会計年度に比べ2,646,603千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して880,030千円増加し、3,648,982千円となりました。これは主に、買掛金の増加186,220千円、短期借入金の増加132,400千円、1年内返済予定の長期借入金の増加468,491千円、未払法人税等の減少76,943千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,760,696千円増加し、4,334,757千円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,751,922千円等によるものであります。

この結果、負債合計は7,983,740千円となり、前連結会計年度に比べ2,640,727千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5,876千円増加し、670,162千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上48,298千円及び配当金の支払36,526千円、子会社1社を新規に連結範囲へ加えたことによる連結範囲の変動額5,519千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は7.7%（前連結会計年度は11.1%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し50,715千円増加し、1,082,934千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、491,823千円（前年同期は960,694千円の取得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益129,911千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費110,168千円、のれん償却額27,784千円、駐車場設備等の減損損失18,191千円、たな卸資産の増加による支出952,518千円、仕入債務の増加186,220千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,712,123千円（前年同期は286,187千円の使用）となりました。これは主に、福岡県福岡市博多区に本社社屋及び隣接する駐車場用地並びに鹿児島県鹿児島市に自走式駐車場の取得等に係る有形固定資産の取得による支出1,675,180千円、投資有価証券の取得による支出29,977千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出18,053千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、2,254,662千円（前年同期は483,761千円の使用）となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,177,400千円と短期借入金の返済による支出1,045,000千円、長期借入れによる収入2,426,600千円と長期借入金の返済による支出206,187千円、リース債務の返済による支出59,482千円、配当金の支払額36,266千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の通期の業績予想につきましては、平成23年8月8日に公表いたしました「平成23年6月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社子会社であるタウンパトロール株式会社について、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,079,714	1,156,878
受取手形及び売掛金	107,655	122,664
有価証券	12,035	2,036
販売用不動産	—	93,686
仕掛販売用不動産	1,464,081	2,316,145
原材料及び貯蔵品	7,444	14,212
前払費用	322,021	307,149
その他	60,258	50,303
貸倒引当金	△2,450	△2,049
流動資産合計	3,050,759	4,061,025
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,434,817	2,481,413
その他(純額)	795,396	1,405,091
有形固定資産合計	2,230,213	3,886,505
無形固定資産		
のれん	309,818	282,034
その他	57,970	52,159
無形固定資産合計	367,788	334,193
投資その他の資産		
その他	359,715	373,226
貸倒引当金	△1,177	△1,047
投資その他の資産合計	358,538	372,179
固定資産合計	2,956,540	4,592,877
資産合計	6,007,299	8,653,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,576	234,796
短期借入金	1,487,600	1,620,000
1年内返済予定の長期借入金	466,641	935,132
未払法人税等	156,274	79,331
ポイント引当金	24,573	24,879
資産除去債務	915	115
その他	584,371	754,728
流動負債合計	2,768,951	3,648,982
固定負債		
長期借入金	1,997,449	3,749,371
退職給付引当金	13,727	15,947
資産除去債務	23,136	22,711
その他	539,748	546,728
固定負債合計	2,574,061	4,334,757
負債合計	5,343,012	7,983,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,275	334,275
資本剰余金	104,775	104,775
利益剰余金	225,234	231,485
株主資本合計	664,284	670,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△372
その他の包括利益累計額合計	2	△372
純資産合計	664,286	670,162
負債純資産合計	6,007,299	8,653,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,353,102	3,560,103
売上原価	3,283,957	2,773,604
売上総利益	1,069,144	786,499
販売費及び一般管理費	555,581	572,652
営業利益	513,562	213,846
営業外収益		
受取利息	434	361
受取配当金	1	61
受取保険金	1,655	—
受取補償金	3,007	115
受取解約違約金	—	4,704
その他	1,163	3,299
営業外収益合計	6,262	8,541
営業外費用		
支払利息	29,063	50,935
支払手数料	7,632	17,904
その他	1,734	5,445
営業外費用合計	38,429	74,285
経常利益	481,395	148,103
特別損失		
固定資産売却損	611	—
減損損失	13,522	18,191
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,678	—
特別損失合計	29,813	18,191
税金等調整前四半期純利益	451,582	129,911
法人税、住民税及び事業税	177,038	71,786
法人税等調整額	32,238	9,826
法人税等合計	209,276	81,613
少数株主損益調整前四半期純利益	242,305	48,298
四半期純利益	242,305	48,298

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	242,305	48,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△374
その他の包括利益合計	△0	△374
四半期包括利益	242,305	47,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,305	47,923
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	451,582	129,911
減価償却費	69,793	110,168
減損損失	13,522	18,191
のれん償却額	18,169	27,784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△929	△530
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△140	306
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,522	2,220
受取利息及び受取配当金	△436	△422
支払利息	29,063	50,935
有形固定資産売却損益(△は益)	611	—
固定資産除却損	1,682	1,268
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,678	—
売上債権の増減額(△は増加)	25,718	△15,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	382,263	△952,518
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,118	186,220
前払費用の増減額(△は増加)	46,323	16,668
その他	△2,346	133,172
小計	1,043,960	△291,633
利息及び配当金の受取額	436	422
利息の支払額	△31,134	△51,633
法人税等の支払額	△52,568	△148,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	960,694	△491,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,221	△3,398
定期預金の払戻による収入	1,200	1,200
有価証券の取得による支出	△10,000	—
有価証券の償還による収入	10,000	10,000
投資有価証券の取得による支出	—	△29,977
有形固定資産の取得による支出	△94,556	△1,675,180
無形固定資産の取得による支出	△8,148	△180
有形固定資産の売却による収入	860	—
貸付けによる支出	—	△200
貸付金の回収による収入	727	233
敷金の回収による収入	4,181	6,184
敷金の差入による支出	△10,313	△18,053
資産除去債務の履行による支出	△4,137	△2,599
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△167,600	—
その他	△180	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286,187	△1,712,123

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	465,000	1,177,400
短期借入金の返済による支出	△970,600	△1,045,000
長期借入れによる収入	483,600	2,426,600
長期借入金の返済による支出	△429,925	△206,187
割賦債務の返済による支出	△1,312	△2,401
リース債務の返済による支出	△19,979	△59,482
配当金の支払額	△10,544	△36,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△483,761	2,254,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	190,745	50,715
現金及び現金同等物の期首残高	775,614	1,007,968
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	24,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	966,359	1,082,934

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	駐車場事業	不動産等 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,932	1,699,169	4,353,102	—	4,353,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,653,932	1,699,169	4,353,102	—	4,353,102
セグメント利益	155,572	357,990	513,562	—	513,562

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては13,078千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,798,823	733,608	3,532,432	27,671	3,560,103	—	3,560,103
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	758	—	758	8,019	8,778	(8,778)	—
計	2,799,582	733,608	3,533,191	35,691	3,568,882	(8,778)	3,560,103
セグメント利益 又は損失 (△)	193,713	48,963	242,677	△30,180	212,496	1,350	213,846

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間から当社において広告事業を新たに開始するとともに警備事業を営む非連結子会社であったタウンパトロール株式会社を新たに連結の範囲に含めたため、「その他」の区分に広告事業及び警備事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去12,300千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,950千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては18,191千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。